

キャラクター名
尾花 千暖

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	UGNエージェント兼教官
	エンジェルハイロウ					
オプション	ハヌマーン		年齢	25	性別	野郎
覚醒	死	衝動	吸血		初期侵食率	35 %
出自	貧乏		経験	トラウマ		慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	1	0			1	行動値	10
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	10
精神	4	0	0			4	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	2		R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
情報収集チーム	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス消費
想い人-onlyYou-P		N	
葛城涼子	P 幸福感	N 疎外感	
両親	P 尽力	N 悔悟	
バカリ和/醜悪な殺害者	P 執着	N 憎悪	
	P	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ノイマン	2	2	シンドローム					
効果: C値-Lv								
即席武器	2	2	白兵/射撃	至近/視界				
効果: 攻撃力+Lv×2+3								
戦いの予感	2	2	セットアップ					
効果: ライト間行動値+Lv×10 ライト1回								
援護の風	4	2	オート					
効果: ダイス+Lv個 ライト1回								
ウインドブレス	2	2	オート				リミット	
効果: 達成値+Lv×3								
ヘヴンアイズ	1	4	オート				80	
効果: 判定直前達成値+10 自身のHP5消費 自身対象不可 シーン1回								
急所狙い	3	2	白兵/射撃					
効果: 攻撃力+Lv×2								
代謝制御	1							
効果: 「………………。……すまない、取り乱した」								
真偽感知	1							
効果: 「嘘をつくならせめてもう少し上手くやれ」								
無音の空間	1							
効果: 「何時からって? 始めからここに居たさ」								
真昼の星	1							
効果: 「…………目標確認」								
写真記憶	1							
効果: 「忘れられないさ。…………忘れたくてもな」								
効果:								

おばな ちはる

真面目な眼鏡、the A型ってかんじの。UGN教官として厳しい態度と強い語気から冷たく怖い印象を受けられることも多い。が、たまに力みすぎて空回りったりうっかりミスしちゃってるところも見られる。本人は気にしているというか、シンプルに恥ずかしいので見られたくないのだが周りや教え子たちはたまに見せるという所で親しみを感じているとか。やめてほしい。代謝制御代謝制御。

基本苗字で呼ばれてるし呼ばせてる。下の名前は女の子の名前みたいなので呼ばれたくない。親しい人にはチハとかハルって読んでもらってる。ちはるちゃんって呼ばれると怒る。

戦闘スタイルは接近戦射撃戦どちらも可能。相方の葛城涼子と組む時は基本的に射撃攻撃。戦闘員兼裏方職員なので前線で毎日活動している者には劣るが、《EE:真昼の星》による超遠隔射撃や《戦いの予感》《EE:無音の空間》による一瞬で間合いを詰め敵に気付かれずに目標を確実に仕留める姿、何より得物に拘らずその場にある物で常に最適な攻撃方法を行う様からコードネームが付けられた。

幼馴染の葛城涼子とはお隣さんで小学生のときからずっと共にいた。だからあの日事件に巻き込まれた時も一緒だった。いつもの学校帰り、いつもの通りの公園で、非日常は襲いかかってきた。巨大なバケモノの前に飛び出したものの為す術もなく成長期間近の柔い身体はひねり潰され、守ろうとした彼女の泣き叫ぶ声がやけに頭に響きながら世界は暗転